つるさき

発行所
鶴崎神社
〒701-0304
早島町早島2220
TEL 482-0097
FAX 697-6067
URL
http://turusaki2.web.fc2.com/

5月16日（日）に実施される第3回巫女体験（岡山県神社庁教化委員会主催）P3に続く

祭神の荒魂とは

当社のご祭神は大吉備津彦命荒魂（おおきびつひこのみことあらみたま）とされており、祭神の後に「荒魂（あらみたま）」と付け加えられている。

県内の神社の祭神を調べてみても、このような例は殆ど無い。

神の御魂（みたま）には荒魂の働きと、和魂（にぎみたま）の働きがあり、和魂には更に幸魂（さきみたま）と奇魂（くしみたま）という二種類の作用がある。この四種の魂を合わせて四魂（しこん）という。

荒魂は神霊（しんれい）の機能としての、荒々しい側面を持つ。台風や洪水といった自然災害に代表される怒れる神の魂。

和魂は荒魂に対するもので、神霊の機能としての、人間に対する平和的側面を持つ。雨や日光の恵みなど穏やかな神の魂。

奇魂は和魂の一つで神の奇跡。神霊の機能として、特に医薬の分野で用いられ、人命に対する神の魂。

幸魂は和魂の一つで豊穣・豊漁など。神霊の機能として、特に産業に関わる神の魂。

伊勢神宮には内宮に天照大御神の荒御魂（荒魂）を祀る荒祭宮（あらまつりのみや）と外宮に豊受大御神の荒御魂を祀る多賀宮（たがのみや）が建てられている。

伊勢神宮では、神様の御魂の穏やかな姿を、「和御魂」と申し上げるのに対して、時にのぞんで、格別に顕著なご神威をあらわされる御魂のはたらきを、「荒御魂」と称えている事から、当社のご祭神の吉備津彦命は他の同神を祀る神社よりも、更に格別な神威がある崇高な神様として祀られている事が窺える。

安原伝兵衛物語

15

伏見城からの帰りも伝兵衛には不自由な旅だった。坂根口留番所まで戻ったとき、終の棲家は銀山しかないと悟った。

十八年前、この番所で捕縛された時から銀山の暮しが始まった。（ここまで来れたのは神仏の加護の賜物だ）

この信念を一層強くした。だから天下人に拝謁したことを誇りとすることもなく、したがって自慢話もしない。高価な胴服も自分にはそぐわないと感じて清水寺に寄贈した。

天下一の山師となり徳川家康の折り紙がついても以前と少しも変わるところがない。「あいつはやっぱり変わり者だ」と言われてしまう。

長安は天下一の金山、銀山奉行の誉れ高く、名声を利用せんと集まる人々は絶えなかった。

幕府の要人と親密な交際にはふんだんに金を使ったから有力な人脈が出来た。長安は子沢山だったから七人の息子多数の娘を有力な武将の子息子女と結婚させ閨閥できた。婚儀には金に糸目をつけず豪華で評判になった。

当代記によると、当時世間に長安がどのように見られていたかが判る。

「諸国の金山、銀山への行儀は夥しく、召使の上臈女房七、八十人その使用人合わて二百五十人、泊まりの宿は何れも代官所なり…伝馬人足以下数を知らず…の食事もその町々の者これつとめ、これがために迷惑す。日本一の驕り者なれども、ならびなき出頭人にて誰もその様子を申上げず」

大久保　長安

徳川幕府が安定するにつれ、武将に替って謀将が活躍するようになる。その一方旗頭が大久保忠隣と大久保長安で、他方本多正信、正純親子だった。

両者の権力闘争は激しく陰湿だった。双方に死者が出た。

慶長十八年（一六一三）四月二十五日、大久保長安は死亡した。享年六十九歳。

これを待っていた本多正信、正純親子は逆襲に転じ、家康の信頼を取り戻す。埋葬された長安の遺骸は掘りかえされ、磔刑にされた。七人の息子と主な郎党は死刑、財産は没収されるという苛酷な処置で、生前の銀山開発の功績は一顧だにされなかった。

大久保長安の関係者への嵐のような報復も安原伝兵衛には波及しなかった。

伝兵衛はこの幸運をひとえに信仰するリ水観音菩薩と早島の産土神御崎宮のお蔭だと、一層感謝の念を強めた。万事質素で控え目な暮しと政治に無関心だったので恨みを買わずに済んだというのが衆目の一致するところだった。

元和九年（一六二三）八月五日、伝兵衛は釜屋間歩の小屋で午睡中に永眠した。

かつてこの小屋でリ水観音との甘美な夢を見た時のような陶酔した表情だった。今も安原伝兵衛は石見銀山の安原谷の墓所で眠っている。

大久保長安の墓所は残念ながら定かでない。石見銀山の大安寺に長安の逆修塚が残されている。生前に建立され、生きている時に七分の六、死後七分の一の往生菩提の功徳が得られると言う。七分の六どころか全てを生前に使い果たしたように思える逆修塚だ。

かつて石見銀山には百を越える寺と墓所があったと言われている。銀山で亡くなった山師、掘子、吹工、遊女の亡骸と魂が草生す蔭で眠っている。それを代表するのが妻山神、山神さんのような気がする。

大永六年（一五二六）山師尾紅孫右衛門が初めて銀鉱脈を掘り当てた。不運にもその直後、孫右衛門は妻おたかと共に非業の死を遂げた。その死を哀れみ、祟りを恐れた人々は祠に祭った。時を経て祠は佐毘売山神社となったが今でも妻山神さん、山神さんと慕われている。

佐毘売山神社の祭で歌われるのは「サンヤ節」。

山も水かれ鏈もつづけ　末は鶴亀五葉松　さても美事や切地のさまよ　六方とじ鏈のむは大黒　歌うは恵比寿　酌をとるのは弁才天　チヨイチヨイサンヤ

現代まで歌い継がれてきた。日が暮れて御神灯の明かりの下、善男男女が夜が更けても歌い踊る。昔の自然に還った銀山七谷へ嫋々（じょうじょう）と流れるサンヤ節は、ご先祖への賛歌であり鎮魂歌だ。

今日、石見銀山が世界文化遺産に選ばれた理由のひとつは、環境破壊を起こさず、人が自然と共に生きてきたことだ。ご先祖は自然と優しく向きあってきた。同時代のブラジル、メキシコ、ペルーなどの金山、銀山では、足を鎖でつないだ奴隷やダイナマイトを使用した開発だったからその違いは歴然としている。〈了〉

平成二十五年四月発行の社報「つるさき」第三十一号から掲載を続けて参りました「安原伝兵衛物語」は今回で完結となりました。

平成二十四年に西宮市在住の板垣衛武氏が執筆し、寄贈頂きました文芸誌を氏子の皆さんにご紹介させて頂きたく連載を行った次第ですが、何分長きに亘ったため、もう一度初めから通読されたい方は当社のホームページの「社報」に掲載しておりますので、ご覧下さい。

境内樹木伐採

三月十三日、境内の鹿島神社西と同狛犬付近に高く伸びた二本の黒松の大枝が茂って鹿島神社の屋根を覆うようになったので二本共伐採した。

また、同十九日手水舎西に枝を広げる泰山木が繁って駐車場や付近の民家に大きな葉を落とすので樹高を下げて枝打ちを行った。

この泰山木は六月になると大きな真っ白い高貴な花を付け、参拝者や道行く人の心を和ませていた。数年するとまた、美しく咲くことであろう。作業は何れも「空師」と呼ばれる特殊技能を持った職人により行われた。

巫女体験

昨年予定致しておりました巫女体験は新型コロナウイルス感染症拡大により、中止となりましたが、本年も当社の春季大祭に併せて第3回巫女体験（岡山県神社庁教化委員会主催）を実施致します。

県内外から集まった20名の女性が巫女の衣装を着けて、供膳祭の奉仕や祭祀舞を奉納致します。

写真撮影も出来ますので、春季大祭（供膳祭）共々御参拝並びに見学にお越し下さい。

5月16日（日）

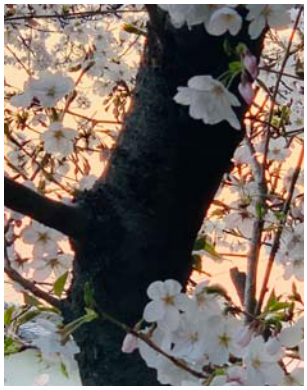
午前10時～供膳祭奉仕

午後3時～祭祀舞奉納

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては中止する場合もあります。

吉備津彦神社神職が正式参拝

二月二十四日、吉備津彦神社の中川禰宜、中島権禰宜が正式参拝され、社殿と参集殿を見学し、神社に関する意見交換を行った。



境内の桜（3月29日）

本殿の初雪（1月12日）

拝殿にて正式参拝を行う吉備津神社神職

イ草の干支展示

毎年恒例となっているイ草のジャンボ干支（ウシ）を年末から節分まで境内に展示した。

正月の参拝者を迎えたイ草のウシ

今回は年末から、BS日本テレビ「音のソノリティー」が十一月と十二月の二度訪れ、公開日の十二月二十五日にはＮＨＫ、山陽放送、岡山放送、西日本放送、倉敷ケーブルテレビ、山陽新聞、朝日新聞が取材に訪れた。

元旦には倉敷ケーブルテレビによる新春生放送が当社から中継され、吉本興業所属のエニシングＯＫ！こと江西あきよし氏と晴れ着姿の局アナが神社参拝を行い、イ草のジャンボウシを見ながらの掛合があり、厄除け玉を投げて厄祓いを行った。その後、岡山ＦＭ放送の取材が行われた。

新春生放送の１コマ

Instagram

ユーザーネーム　turusaki0097

神社公式インスタグラムを始めました。祭典、お知らせ等を始め毎日の神社の様子を写真と共に紹介します。フォローをお待ちしております。

奉納品

軾（ひざつき）（永原耕吉）

総代の異動（令和３年４月１日付）

無津	
新任	退任
澤田　順一 早島町早島五七一	曽我　均一郎 早島町早島七八二

祭事暦

五月十五日（土）［午後七時］
八幡神社春季大祭
（露店あり）

五月十六日（日）［午前十時］
鶴崎神社春季大祭
【供膳祭】

七月三十日（金）［午後五時］
夏越祭【輪くぐり祭】
（露店あり）

毎月一日（午前九時）月次祭

諸祈祷・出張祭の案内

◆初宮詣・交通安全・厄除・安産・家内安全・病気平癒・その他
◆地鎮祭・上棟祭・家移清祓・宅神祭・結婚式・神葬祭等

ご希望の方は前もってご連絡下さい。

祈祷／出張祭は
予約
をお願いします。
482-0097